

カレッジ里山 花実の森 活動報告(2019年10月) 第115号(再編集)

活動日	時間	天候 (晴)	記録者 (菅田)
2019年10月23日(水)	9:30~12:00		
参加者氏名	(10月23日) 伊牟田雅子、菅田忠志、黒子兵吾、小林澄夫、佐藤泰仙、塩ノ谷年子、清水英暢、俵貴志子、田路義弘、中原一子、南木久枝、橋野美子、松本治美、山田喜義、米倉進、中西優、若尾孝子、		
今月実施した作業内容	キイロスズメバチの巣発見!		



今回の作業中に大きなスズメバチの巣が見つかった。ヘルメット4個分くらいの大きさがありそう。早速立ち入り禁止のロープを設置。数日後に予定していたイベントの中で、この近くで行う予定の植樹も離れた場所へ回避することとした。12月もなれば空き巣になるので、可能であれば教材用に回収したいと思っていたが、その後無くなっていた。しあわせの村で撤去された模様。

スズメバチの話

(WEBサイトから引用)

スズメバチは、**巣や自身に刺激が加わった際に相手を攻撃**します。そのため基本的には、こちらから刺激しない限り攻撃されることはありません。ただしスズメバチの種類によっては「**巣に近づいただけ**」で攻撃対象として見なされてしまうこともあります。夏～秋頃はとくに警戒心が強く、危険性が高まっているため注意しましょう。

そもそもスズメバチの毒針は、一方的に攻撃するために備わっているわけではありません。

スズメバチは外敵に対しての防衛本能が強く、**巣や自身を守るための武器として毒針をもっている**んです。

スズメバチの1年の活動



ちなみに毒針をもつのは**メスのみ**。あたりを飛び回っている「働き蜂」はすべてメスなのでご注意を!

「警報ホルモンで仲間を呼ぶ!」

スズメバチは攻撃する際、**警報フェロモン**と呼ばれる物質を放出します。これは、仲間の他のスズメバチに「敵がいる」と知らせるためのもの。

早朝から活動し、夜間は巣に戻る

スズメバチは朝6時～7時頃になるとエサ探しに出かけます。

雨の日・気温の低い日はおとなしい。

警報⇒威嚇⇒攻撃の段階を踏む
スズメバチは人間を見つけたからといって、**すぐに攻撃してくる訳ではありません。**
敵を見つけると、次の段階を踏んで攻撃に移ります。

スズメバチはすでに完成している巣を再利用することはありません。

毎年、新しい女王蜂が1から巣を作り、群れを大きくしていきます。

【服装】黒い服を敵とみなす傾向にあるので黒い服装は避ける

応急処置

刺された部分を水でよく洗い、抗ヒスタミン軟膏を塗る。
ひどくはれたり、じんましん・めまい・吐き気・息苦しいなどの症状があつたら、すぐに医師の診断を受ける。